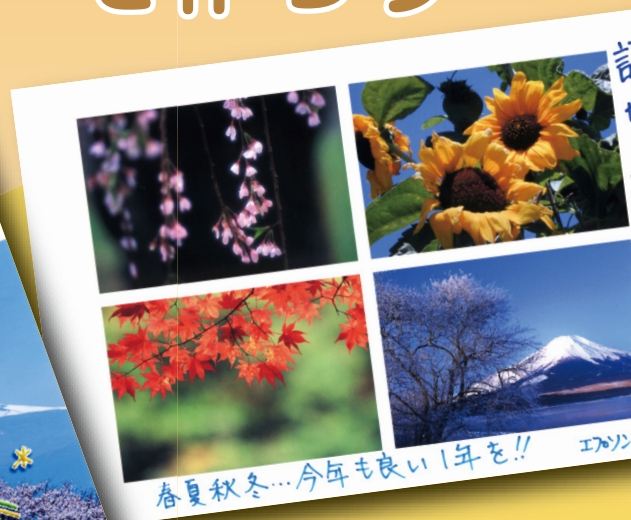
EP-901F/EP-901A/EP-801A

よくわかる!カラリオガイド

パソコンなしで

オリジナル年賀状を作ろう

「オリジナルの年賀状を作りたいけど、
パソコンは苦手で・・・」
「お気に入りの写真をポストカードにして年賀状を」
そんな方におススメ!!

※このマニュアルでは、EP-801A を例に説明しています。

NPD3932-00

オリジナル年賀状を作りたいけど パソコンは苦手で・・・ そんなときこそカラリオプリンタ！！

パソコンが苦手でも、カラリオプリンタがあればもう安心。
プリンタの機能を使うだけで、こんなに楽しいオリジナルポストカードや年賀状が作れちゃいます。

お気に入り写真をポストカードに

お気に入り写真を４枚並べて →P05

Happy new year
今年もよろしくね！

手書きの文字を合成

お好みの素材を貼ってコピー

同じ写真も工夫次第で大変身！

同じ写真でも、レイアウトを変えたり手書き合成機能を使ったりするだけで、こんなに印象の違う年賀状ができます。

→P05

ハガキの上半分に写真を印刷してから、余白部分にメッセージを直接書き込みます。

→P06

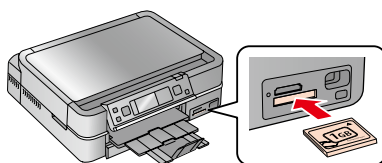
手書き合成機能を使って、写真に手書き文字やイラストを合成して印刷します。

お気に入りの写真を
ポストカードにして年賀状を

お手持ちの写真をハガキの通信面に写真コピーすれば、オリジナルポストカードが作れます。メモリカードや携帯電話に保存されている写真データを、ハガキの通信面に印刷することもできます。

写真コピーで（コピーモード）

お手持ちの写真（ハガキサイズでなくても OK ！）をハガキの通信面に写真コピー

メモリカード内の写真で（写真の印刷モード）

メモリカード内の写真をハガキサイズに印刷

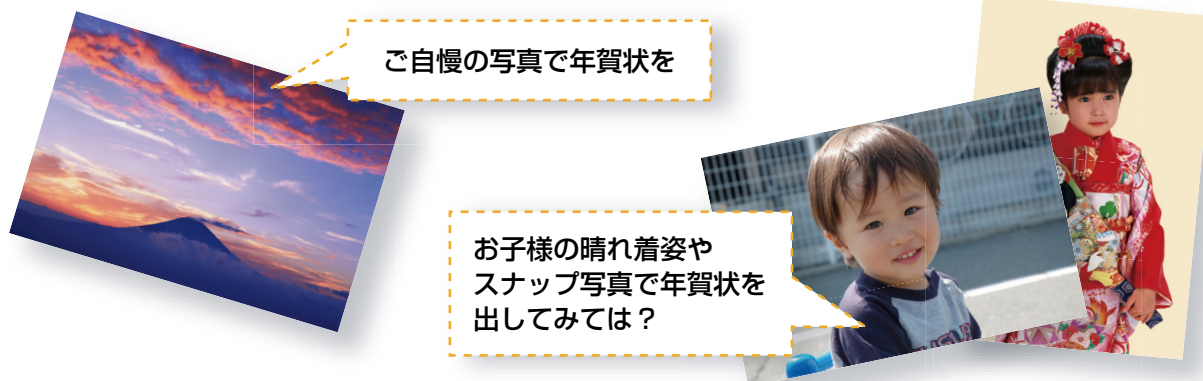
携帯電話などの写真で（セットアップモード）

携帯電話などに保存した写真を赤外線通信で印刷

印刷する用紙（ハガキ）に合わせて、用紙種類 / 用紙サイズの設定をしてください。

コピー / 印刷の手順や設定方法は、製品に付属の『操作ガイド』をご覧ください。

参照

- 写真コピー
  - ➔「コピー」
- メモリカード印刷
  - ➔「写真の印刷」
- 携帯電話の写真を印刷
  - ➔「便利な機能」－「赤外線通信で印刷」

レイアウトを変えればもっと楽しく！

「上半分」や「楕円 -1 面」などのレイアウトでプリントしてから、余白部分に油性のペンなどでメッセージを書き添えると、オリジナル感がさらにアップします。

レイアウト：上半分

レイアウト：楕円 - 1面

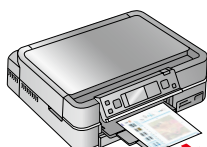
レイアウト：楕円 - 上半分

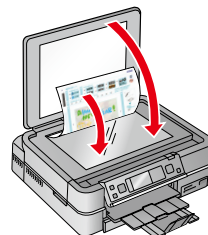
※ コピー機能は上記レイアウトには対応していません。

レイアウトの変更手順は製品に付属の『操作ガイド』をご覧ください。

参照
➔「写真の印刷」－「便利な写真の印刷機能」－「いろいろなレイアウトの印刷」
➔「便利な機能」－「赤外線通信で印刷」

手書き合成機能を使って

手書き合成機能を使えば、写真に手書き文字を重ね合わせて印刷できます。
電話やメールでのコミュニュケーションが主流の時代だからこそ、せめて季節のご挨拶の折などには手書きの温かみを添えたいものですよね。
オリジナリティあふれる年賀状でご親戚やお友達をビックリさせてみませんか？

手書き合成シートを印刷

手書き合成シートに文字やイラストを記入

手書き合成シートをスキャン

楽しい合成プリントのできあがり！

実際の印刷手順は製品に付属の『操作ガイド』をご覧ください。

参照 「写真の印刷<手書き合成シートを使って印刷>」

レイアウト　：フチなし
文字種類　：ふつう文字
文字飾り　：ABCD
合成フレーム　：なし

写真全面にイラストやメッセージを合成して

レイアウト　：下半分
文字種類　：モコモコ文字
文字飾り　：ABCD
合成フレーム　：なし

下半分のレイアウトを生かして

モコモコ文字で個性的に

レイアウト	：下半分
文字種類	：モコモコ文字
文字飾り	：ABCD
合成フレーム	：なし

おじいちゃん、おばあちゃんには
お孫さんの手書きメッセージを
添えて…

レイアウト	：フチなし
文字種類	：ふつう文字
文字飾り	：ABCD
合成フレーム	：なし

出産や結婚の報告を兼ねた
年賀状もおうちプリントで！

レイアウト	：上半分
文字種類	：ふつう文字
文字飾り	：ABCD
合成フレーム	：楕円ぼかし

レイアウト	：フチなし
文字種類	：ふつう文字
文字飾り	：ABCD
合成フレーム	：なし

こんなときは

- 手書き合成機能でよくあるご質問 -

手書きエリアのフチまで書いたのに、写真のフチに印刷されない（思ったより内側に入ってしまう）。

手書きエリアの枠線は、写真のフチを表しているのではありません。手書きエリアの端に文字やイラストを書いた場合、以下のように、書いた内容が写真のフチよりも内側に印刷されます。

合成したい写真

＋

文字やイラストを手書きエリアの端に書いた手書き合成シート

＝

手書きエリアの端に書いた文字やイラストは、このように写真の少し内側に合成されます。

機能の仕様上、写真のフチまで手書きの内容を入れることはできません。

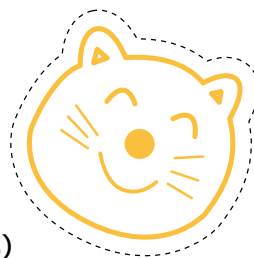
このように周辺ギリギリに文字やイラストを入れることはできません。

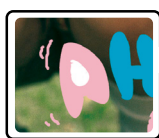
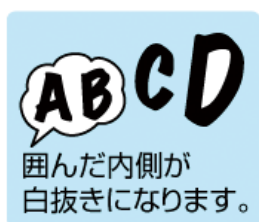
文字や絵がかすれて、きれいに印刷されない。

手書きエリアの文字や絵は、書かれている文字や線の輪郭から形や範囲が認識されます。このため、線が細かったりかすれたりしていると、正しく認識されません。また、手書き合成シートに印刷されている文字や線、背景画像と同じような色のペンを使用すると、正しく認識されません。

文字や絵がかすれたり切れたりしてきれいに合成できないときは、太いペンや濃い色のペンなどを使用して、できるだけ太く、はっきりと書いてください。

絵の一部が欠けてしまう。

手書き合成は、文字や線の部分のみ、または線の周囲ギリギリの部分を切り抜くため、（A）のように線が途切れたり離れたりしている絵には不向きです。
絵を合成する場合は、（B）のように絵を囲む（線をつなげる）ようにして、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、絵全体が切り抜かれてうまく合成することができます。

こんなときは

文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、文字の一部まで白抜きになってしまう。

手書き合成シート上で「囲み内側白抜き」を選択

「囲み内側白抜き」の機能の仕様です。

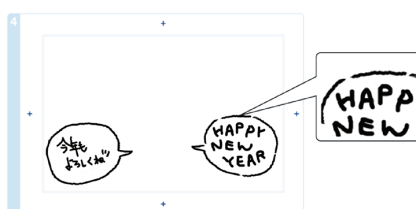
下図（A）のように文字全体を線で囲んでください。線で囲んだ内側が白抜きされて合成されます。また、文字飾りを「フチ取り」に設定すると、文字は（B）のように合成されます。ただし、（B）のように絵の中（顔の部分）が透過してしまいます。そのときは、濃い色のペンで塗り潰してください。

（A）

（B）

「囲み内側白抜き」に設定したのに、白抜きされない。

ボールペンの書き出しなどはインクが細かく途切れてしまい、しっかりと囲い線を囲めないことがあります。この場合、囲みを正しく認識できず白抜きされません。

「囲み内側白抜き」に設定したのに、白抜きされない場合は、しっかりと囲い線が囲まれているかをご確認ください。

用紙の汚れ（異物）が合成されてしまった。

修正テープなどで汚れを消して、もう一度印刷をお試しください。

手書きの内容が等倍（100%）で印刷されない。

手書きエリアや印刷エリアは、印刷される領域の実寸を表示していません。書き込んだ内容は、用紙のサイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されますので、等倍にはなりません。

手書きした文字がにじんでしまう。

手書き合成シートを印刷した直後は、まだインクが十分に乾燥していません。乾燥していないシートに水性ペンなどで文字を書き込むと、文字がにじんでしまうことがあります。手書き合成シートを十分に乾燥させてから、文字を書き込んでください。

手書きエリアの画像に位置を合わせて文字を書いたのに、合成結果がずれてしまう。

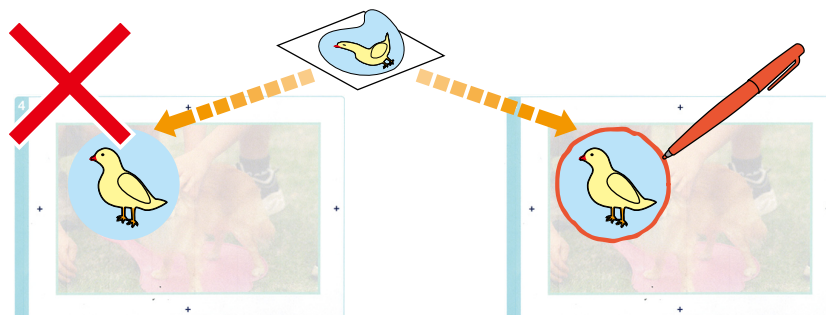
手書きエリアの画像は位置合わせの目安になりますが、合成結果とぴったり一致するものではありません。

また、手書き合成シートのスキャン時にシートが傾いてセットされていると、合成結果が大きくずれることがあります。

シールやステッカーの切り抜きなどが正常に合成されない。

シールやステッカーの背景色が、手書きエリアに印刷された写真画像と同じような淡い色だと、線やフチが認識されず正常に合成されないことがあります。

そのようなときは、濃い色でフチ取りをして、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定してください。

実物のシールやステッカーに近い状態で合成されます（背景の色は白抜きされます）。

コピー機能を使って

ハガキサイズに切った紙の上にお好みの素材を貼り付けてコピーすれば、手作り感たっぷりの年賀状が作れます。

折り紙を貼り付けて

■このサンプルを作成した際の主なコピー設定

コピー色	：カラー
原稿種	：写真
レイアウト	：フチなしコピー
倍率	：オートフィット
用紙種類	：郵便光沢ハガキ
用紙サイズ	：ハガキ
印刷品質	：標準
コピー濃度	：±0

造花を使って

※ このサンプルは、造花をコピーして切り抜いたものと、紙に書いた文字を切り抜いたものを貼り付けて作成しました。

※サンプルの設定値は参考情報です。
最適な設定値は原稿の素材やデザインなどによって異なりますので、ハガキにコピーする前に普通紙（コピー用紙）などに試し印刷を行うことをお勧めします。

実際の印刷手順は製品に付属の『操作ガイド』をご覧ください。

参照 ➔「コピーの基本」

上手にコピーするコツとご注意

折り紙や造花などのお好みの素材を貼り付けてコピーするときは、以下の点に注意してください。

■ 用紙の端に文字や素材を入れないようにしてください。

原稿の端にある文字や素材は印刷できません（はみ出したり、フチにかかったりします）。原稿を作るときには、用紙の端に文字や素材を入れないようにしてください。

＜原稿＞

＜標準コピー＞

＜フチなしコピー＞

■ 原稿カバーを押さえてコピーしてください。

折り紙を貼り付けた原稿など、厚みのあるものをコピーする際には、光が入らないように原稿カバーを押さえてコピーしてください。

■ ざらついた素材や先の尖った素材は使用しないでください。

原稿台や原稿マット（原稿カバーの裏）が傷付くおそれがありますので、ざらついた素材や先の尖った素材などは使用しないでください。

■ 原稿台をのりなどで汚さないようにしてください。

液状ののりは素材からはみ出しやすいため、スティックタイプなどの固形ののりを使うことをお勧めします。
原稿台が汚れたときは、メガネふきなどの繊維くずが出ない布でふき取ってください。

■ 素材によっては、原稿と同じ色味でコピーできないことがあります。

大量に印刷する前には、試し印刷をすることをお勧めします。